

事業者向け 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			指導室は法令を遵守したスペースを確保しております。その他のスペースの使い方も工夫をしております。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			入社時1カ月程度の研修を行っております。また今後は継続的な研修も実施し、指導員の指導力向上を図っております。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			指導環境は子供たち楽しんで遊んで頂ける工夫を行っております。また、事業所は階段3Fにありますが、ビルにはエレベーターが設置されており、バリアフリー化を行っております。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		毎月1回程度全スタッフが集まってミーティングを行う時間を設け、その中で現状の確認、業務改善のための方策の話し合いを行っております。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		アンケート結果をもとに、頂いたご意見を事業所内で共有し、改善案を話し合い改善につなげています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			現在事業所の会報はありませんが、ホームページを活用し、集計結果を公表させていただいております。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在、第三者による外部評価は行っていません。その分、事業所内で頂いたご意見をもとに共有を行い改善へとつなげる仕組みを設けております。
適切な支援の提供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		他法人との合同勉強会の開催や、奈良県リハビリテーションセンター病院の訪問事業を活用するなどして職員の資質の向上に努めています。また、事業所内においても定期的に勉強会を行い知識と専門性の向上に努めております。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別支援計画の更新に伴い、アセスメントシートを作成し、対象児の状態をしっかりと把握、分析した上で目標設定を行い計画書の立案を行っております。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			JSI-Rを活用し、対象児の状態を捉えた上で適応行動の状況を把握するように努めております。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			その日の課題設定や狙いを職員間で相談し活動プログラムに反映させる形を取っております。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			「狙いの設定→実践→分析→次回の狙いの設定」の流れで療育プログラムの設定を行っております。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			○	平日、休日、長期休暇の括りで課題設定は行っていませんが、対象児の状態に対してその時に必要な支援を考え実践しております。
	⑭	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適時組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	○			対象児の状況把握を行い、個別での関わりが必要なのか、集団での関わりが必要なのか分析を行い、適切な段階の環境調整・課題設定を考えた上で計画の作成を行っております。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			普段から職員間で役割について話し合う時間を設け、円滑に療育を提供できるよう努めております。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			朝礼の際に情報共有を行い、協議を行う体制をとっております。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎回の支援終了後に記録の打ち込みを行い、管理ソフトにて管理の徹底を行っております。また、次回のご利用までに、検証と課題分析を行い、質の向上に努めております。
関係機関や保護者	⑱	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか		○		法廷で定められた期間で見直しを行っております。また、状況に応じて、適時見直しを行わせていただいております。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか		○		お子さんの主体性を意識し、自立支援と日常生活の充実のために課題設定を行い取り組んでおります。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当職員と児童発達管理責任者が参加しております。
	㉑	保育所や幼稚園との情報共有(年間計画・行事予定などの交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか			○	現在、送迎などは行っておらず保護者様の送り迎えをお願いしております。その兼ね合いで学校との下校時間の確認などは行っていません。今後、必要に応じて行って参りたいと思います。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在、看護師の配置などはなく対象者はいない状態です。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	ご利用開始時に、出来るだけ資料の提供をいただけるようアナウンスに努めております。
	㉔	保育園や幼稚園を卒業し児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所などへ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	対象が小学校2年生までの方である為、対象となるケースがない状態です。利用終了段階で次の利用先への引継ぎなどは出来る限り行って行きたいと考えております。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
者との 連携	②5 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			対象地域に児童発達支援センターがない為、連携等は行えていない状態です。発達障害者支援センターとはケースに応じて連携を行っております。
	②6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現在、取り組みが不十分な状態となっております。今後、どのように地域のお子さんに関わる機会を作っていくか、事業所内で計画を作成し取り組んでまいりたいと思っております。
	②7 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		自立支援協議会の子ども部会に参加させていただいております。また、協議会主催の勉強会やイベントへの参加を行っております。
	②8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎回の療育終了後にFBの時間を設け、お子さんの状態の共有を行うように努めております。その中で、しっかりと共通理解を持っていると思っております。
	②9 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	現状、行えていない状況です。今後、保護者様向けの講演会やペアレント・トレーニング等の支援を行っていきたいと考えております。
保護者への 説明責任等	③0 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に各項目について丁寧に説明させていただくように努めております。また、運営規定については、事業所内に掲示しており、いつでも確認いただける体制を整えております。
	③1 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			お子さんが療育を受けていただいている間、保護者様がお待ちいただくサロンスペースにスタッフが常駐するようしており、いつでもご相談いただける体制を整えております。
	③2 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在、保護者会などの取り組みは行えておりません。今後、保護者様同士の繋がりを強化し連携を図れるような体制を検討し整備していきたいと思っております。
	③3 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			事業所内にご意見箱を設けるなど体制整備を行い、苦情相談の窓口と苦情解決のプロセスの説明を契約時に行わせていただいております。頂いたご意見に対しては、丁寧に話を伺わせていただき、迅速に対応させていただくよう努めております。
	③4 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	現在、会報などの発行は行っていない状態です。今後、必要性について検討を行い、対応してまいりたいと考えております。
	③5 個人情報に十分注意しているか	○			個人情報については、個人情報の取り扱い同意書に記載させていただいている内容に準じて、適切に取り扱わせていただいております。
	③6 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個々人の障害特性を把握するように努め、適切な配慮を行いながら意思疎通や情報伝達に努めております。
	③7 事業所の行事に地域住民を招待するなど地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在、基本運営以外に事業所行事を行っていない状態です。今後、地域住民の方も含めた形で
非常時等の 対応	③8 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種マニュアル作成を行い、職員に周知を行っております。また、いつでも閲覧できるように事業所内に常設しております。
	③9 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回(火災1回、地震1回)避難訓練を行わせていただいております。
	④0 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会の設置を行い、その中で職員に対して研修機会を確保するように努めております。
	④1 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束適正化委員会を設置し、その中でどのような条件下でやむを得ず身体拘束を行うかについて話し合いを行うようしております。身体拘束が発生する場合には、事前に保護者様に丁寧に説明を行い、個別支援計画にもその旨を記載するよう徹底しております。
	④2 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	現在、事業所として食事の提供は行っておりません。今後、提供場面が発生する場合には医師からの指示書を提供いただき、それに基づいた対応を行って参りたいと考えております。
	④3 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	ヒヤリハット事例が発生した際に、全職員で共有を行い、事例集としてまとめて保管し確認ができるようにさせていただいております。